

川内原子力発電所 温排水影響調査結果の概要

[令和5年度冬季調査]

令和6年8月16日
水産振興課

1 調査結果の概要

温排水の拡散範囲は過去の調査結果と比較すると、下げ潮時において放水口から南方向への広がりがみられたが、水温・塩分・流況については、「昭和58年度（発電所稼働開始後）～令和4年度」の変動の範囲内であった。

主要魚類及び漁業実態について、バッチ網、ごち網ともに過去の調査結果「昭和58年度（発電所稼働開始後）～令和4年度」の変動の範囲内であった。

2 調査の目的

安全協定書に基づき川内原子力発電所から排出される温排水が周辺海域に与える影響を的確に把握する。

3 調査の体制

調査は「鹿児島県海域モニタリング技術委員会」の指導、助言のもとに県水産技術開発センターが実施した。

4 調査内容および実施時期

表1 令和5年度冬季調査調査一覧

調査項目	調査の内容	調査実施時期
1 水温・塩分	(1) 水平分布	令和6年3月10日
	(2) 鉛直分布（水温のみ）	令和6年3月10日
2 流況	(1) 25時間調査	令和6年3月10日～3月11日
	(2) 15日間調査	令和6年2月25日～3月11日
3 主要漁獲 及び 漁業実態	(1) イワシ類（シラス） バッチ網	令和5年1月～12月（周年）
	(2) マダイ・チダイ ごち網	令和5年4月～12月